

経営比較分析表

大分県 豊後大野市

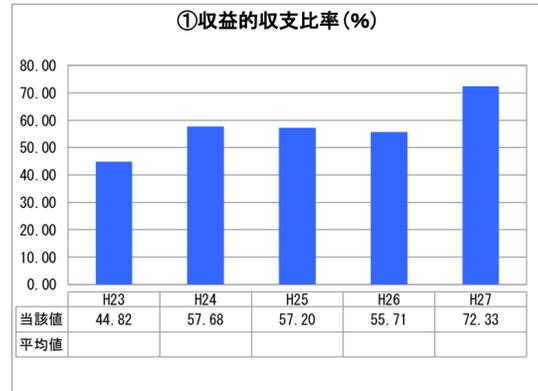
業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)
-	該当数値なし	8.58	92.68

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
38,078	603.14	63.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
3,247	1.51	2,150.33

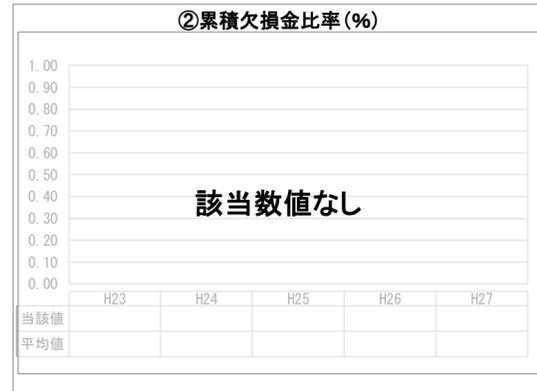
1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
3,606

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



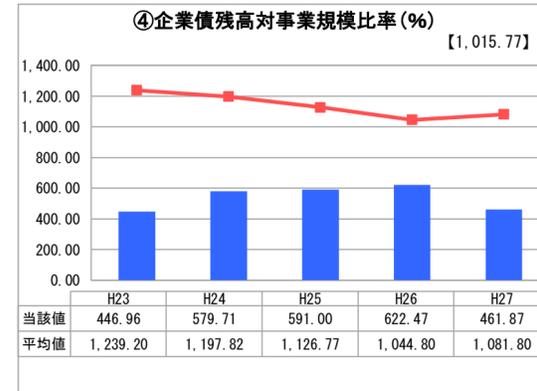
「単年度の収支」



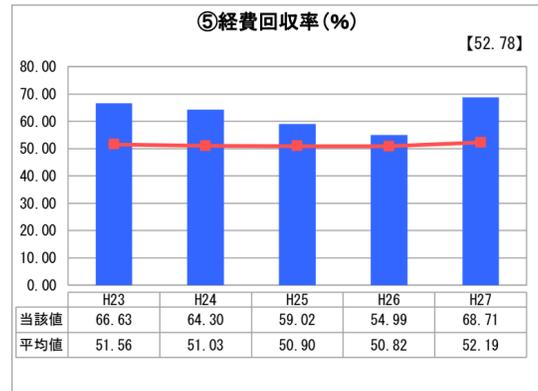
「累積欠損」



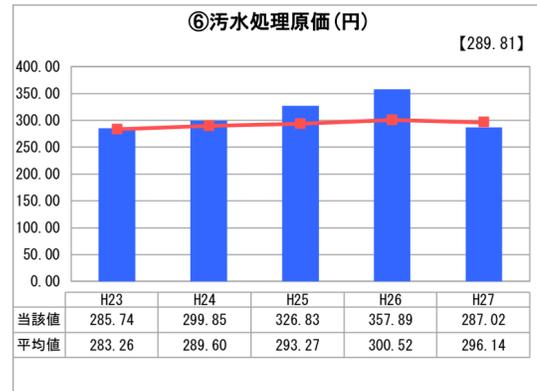
「支払能力」



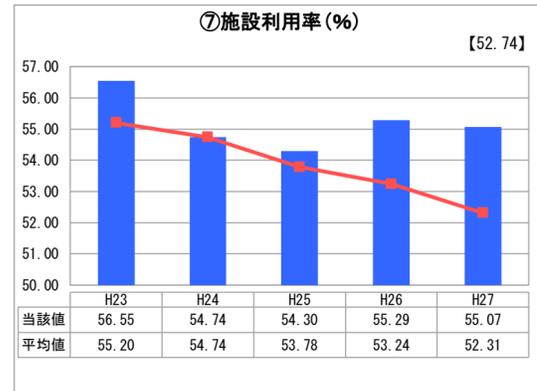
「債務残高」



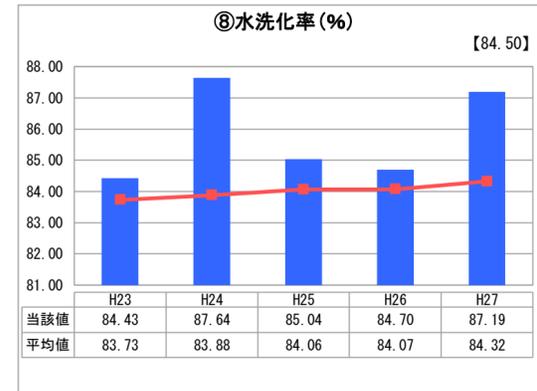
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」

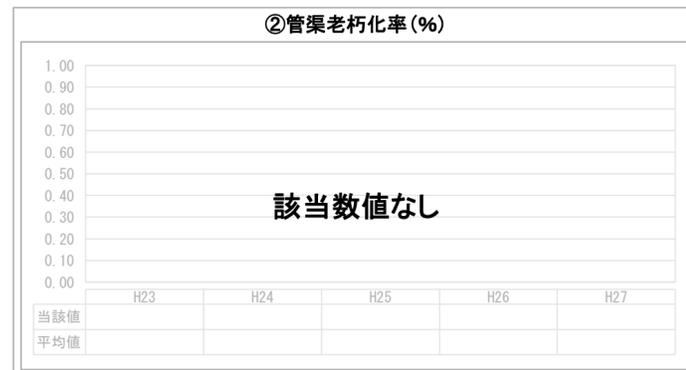


「使用料対象の捕捉」

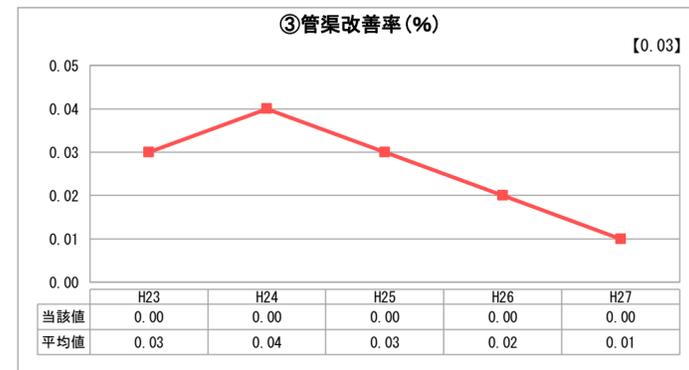
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ①『収益的収支比率』・・・総費用に地方債償還金を加えた費用を総収益でどの程度賅われているかを示す指標。
 平年に比べかなり改善されていますが、今後とも経費削減に努める必要があります。
- ④『企業債残高対事業規模比率』・・・料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す指標。
 全国平均や類似団体平均より低くなっています。これは、平成21年以降、整備区域の拡張を中止したことが原因と考えられる。
- ⑤『経費回収率』・・・使用料で回収すべき経費を、どの程度使用料で賅えているかを表した指標。
 全国平均、類似団体平均を上回っているが、必要な経費を料金収入では賅えていない。今後は接続率の向上対策に併せ、更なる費用削減に努めていく必要があります。
- ⑥『汚水処理原価』・・・有収水量1mあたりについて、汚水処理に係るコストを表した指標。
 全国平均、類似団体平均と近い数値であり、今後も更なる費用削減に努めていく必要があります。
- ⑦『施設利用率』・・・処理能力に対する汚水処理量の割合で、施設の利用状況を判断する指標。
 全国平均、類似団体平均の減少率よりは緩やかであるが、低い水準で推移しており、接続率の向上対策に努める必要があります。
- ⑧『水洗化率』・・・実際に水洗便所を設置して汚水処理している人口の割合を表した指標。
 全国平均、類似団体平均より高くなっていますが、更なる接続率の向上対策に努める必要があります。

2. 老朽化の状況について

- ③『管渠改善率』・・・当該年度に更新した管路延長の割合を表す指標。
 供用開始後25年経過した施設もあるが、耐用年数までには期間があるため、管渠の更新は行っていない。今後は計画的に管路清掃や点検を行い、維持管理に努めていく。

全体総括

今のところ、「経営の健全性及び効率性」は類似団体と比較して健全な経営ができています。
 施設の長寿命化を図るため、管路清掃等を計画的に行うとともに、施設の統合等について検討をする必要がある。また、効率的な経営のため、更なる経費の削減に努めるとともに、未接続世帯への普及促進に努め、水洗化人口及び有収水量の増加を目指す必要がある。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。
 ※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。